



「部活動のあり方を探る」

【 文学部 教育学科 教授 長沼 豊 】

研究者紹介

教科外教育(部活動・特別活動・ボランティア学習・シティズンシップ教育)について研究。1986年から学習院中等科教諭、一番多い時には3つの部活動を担当。1999年から学習院大学の教員。教育学科開設(2015年)に携わる。日本部活動学会設立発起人代表、日本特別活動学会会長など。文部科学省学習指導要領作成協力者会議委員なども歴任。

【キーワード：教科外教育、生徒の自治的活動、教員の働き方改革】

本研究の目的・内容

近年、社会問題としても取り上げられるようになった部活動のあり方を、全国の多様な研究者、実践者とともに分析・考察しています。

1. 部活動に関わる生徒の実態と教育的意義の考察
2. 部活動顧問の実態と過重負担、教員の働き方改革の視点からの考察
3. 部活動改革の方向性、部活動のあり方の総合的な検討
4. 部活動における学校、地域、家庭の連携
5. 部活動における企業の支援策の検討 など

本研究の新規性・優位性、成果の応用・活用

2017年3月「第1回部活動のあり方を考え語り合う研究集会」(学習院大学)を研究室主催で開催、全国から約100人の参加者があり、8月には第2回を大阪大学の小野田正利教授と共同開催。第3回を12月に名古屋造形大学の大橋基博教授と共同開催。150人の参加者を得ました。日本部活動学会を設立発起人代表として12月27日に設立。全国の研究者、実践者と共同研究を開始しました。

主な研究業績

【論文】「教員の職務の過重負担とその要因について ～部活動を題材に～」学習院大学文学部教育学科・教育学研究会『学習院大学教育学・教育実践論叢 第3号』2017年、単著 など多数

【著書】『部活動の不思議を語り合おう』(ひつじ書房)2017年、単著 など多数

【メディア出演】NHK「視点・論点」TBSテレビ「Nスタ」、各種新聞掲載 など多数

【講演】「部活動顧問の過重負担問題を考える」(としまコミュニティ大学講座)2018年1月 など多数

応対できる研究・企業等への希望

1. 共同研究
2. 受託研究/評価試験
3. 学術指導/コンサルティング
4. 講演/出張講義
5. 寄付金受入
6. 報道等の取材/出演
7. その他()

研究者より：講演等は随時受け付けています。テレビ・新聞などのメディアには2016年から頻繁に登場しています。

【お問い合わせ】

学習院大学 研究支援センター

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

TEL: 03-5992-1228 Mail: Ken9-off@gakushuin.ac.jp

URL: <http://www.gakushuin.ac.jp/univ/research/index.html>



学習院大学 広報大使

さくまサン

©12'18 GAKUSHUIN